

令和元年度（2019年度）行政評価シート【個表】

令和元年7月5日

評価対象事業		評価者	道路課担当課長 齋藤 政徳		
都整-17	重点事業	橋りょう維持補修事業	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課	道路課
	まち・ひと・しごと		<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課	
総合計画上の位置付け	分野	道路整備	施策の方針	道路・橋りょうの整備・維持管理	

1 事業の目的

対象	市民等
意図	市民等の安全性、利便性を確保するため。
効果	安全な交通を確保するための施設保全を図る。

2 平成30年度(2018年度)に実施した事業の概要

<ul style="list-style-type: none"> ・橋りょうの機能保持のため点検調査を行った。 ・新富岡橋の工事発注に必要となる修繕設計を行った。 ・廣瀬橋の補修を行い、車両等の安全な通行を確保するとともに長寿命化を図った。

3 事業費等基礎データ

データ区分	29年度(2017年度)決算		30年度(2018年度)決算		01年度(2019年度)当初予算		備考
	人口等のデータ	人口	176,466人	176,308人	人口	176,436人	
	世帯数	81,150世帯	81,763世帯	世帯数	82,444世帯		
運営資源状況	事業の対象者数			事業の対象者数			
	決算値(千円)	73,219	56,340	当初予算(千円)	181,892		
	国県支出金	22,108	25,948	国県支出金	65,181		
	地方債	6,400	15,300	地方債	80,800		
	その他			その他			
	一般財源	44,711	15,092	一般財源	35,911		
事業経費運営	人員配置数	2.0	1.7	人員配置数	2.0		
	人件費(千円)	16,667	14,195	人件費(千円)	16,143		
	総事業費(千円)	89,886	70,535	総事業費(千円)	198,035		
	市民1人当りの経費(円)	509	400	市民1人当りの経費(円)	1,122		
	対象者1人当りの経費(円)			対象者1人当りの経費(円)			

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効率性	事業費に削減余地はないか	2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない
妥当性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	2. 増大している
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい	3. 廃止・休止による影響は大きくある
	今後も市が実施すべき事業か	5. 豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある
有効性	事業の成果は得られているか	2. 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	3. 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
公平性	受益者負担は公正・公平か	△.負担未導入 △-3. 受益者が特定できないため、受益者負担を求めることができない
協働	市民等と協働して事業を展開しているか	△.協働未実施 協働実施済の場合のパートナー

事業内容の方向性	<input type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す ⇒	見直しの種類	<input type="checkbox"/> 拡大	見直しの内容	
	<input checked="" type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする		<input type="checkbox"/> 縮小		
	<input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する		<input type="checkbox"/> その他		
	<input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する ⇒				事業へ統合
予算規模の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由	市内の橋りょうの修繕等は、長寿命化修繕計画に基づき順次修繕を行っているが、架設後相当年数が経過している橋りょうが多数あることから予算規模を拡大し、早急に修繕を実施する必要がある。		
	<input type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする				
	<input type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する				

総評(評価に対する考え方、根拠等)	<p>・橋りょうは安全な通行を確保するために必要不可欠な道路施設であるため、橋りょうの点検調査を実施し長寿命化修繕計画に基づき優先順位を決定し、計画的な修繕を行っている。</p> <p>・「橋りょう長寿命化修繕計画」に基づき修繕を行っているものの、限られた人員と厳しい財政状況のため、単年度でできる修繕には限りがある。</p>
-------------------	---

平成30年度(2018年度)事業実施にあつての課題(前年度未解決の事項を含む)	<p>主要な橋りょうの補修工事を先行しているが、その修繕工事に複数年を要するため、小規模な橋りょうの進捗率が芳しくない。</p>	
課題解決のために行った平成30年度(2019年度)の取組	<p>橋りょう長寿命化修繕計画に基づき、計画的な修繕を進めているが、工事時期が限定される他、十分な予算と人員が確保できないため、取り組みは難しい。</p>	<input type="checkbox"/> 解決 <input type="checkbox"/> 一部解決 <input checked="" type="checkbox"/> 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由	<p>平成31年度に「橋りょう長寿命化修繕計画」を改定し、新たに優先順位を決定することとしているが、平成30年度の課題のため小さい橋りょうが取り残される可能性がある。</p>	

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項									
団体名									
他市実績									

当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方									
----------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	単位	指標の傾向		備考				
当該指標を設定した理由		H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)	
	目標値							
	実績値							
	達成率							

当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方									
-----------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--